

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和元年7月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和元年7月(大気質、水質)の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要 (埋立地周辺における調査 大気質)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	7月1日~31日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要 (埋立地周辺における調査 水質 (一般項目))

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全燐(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	7月9日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質(SS) クロロフィルa			

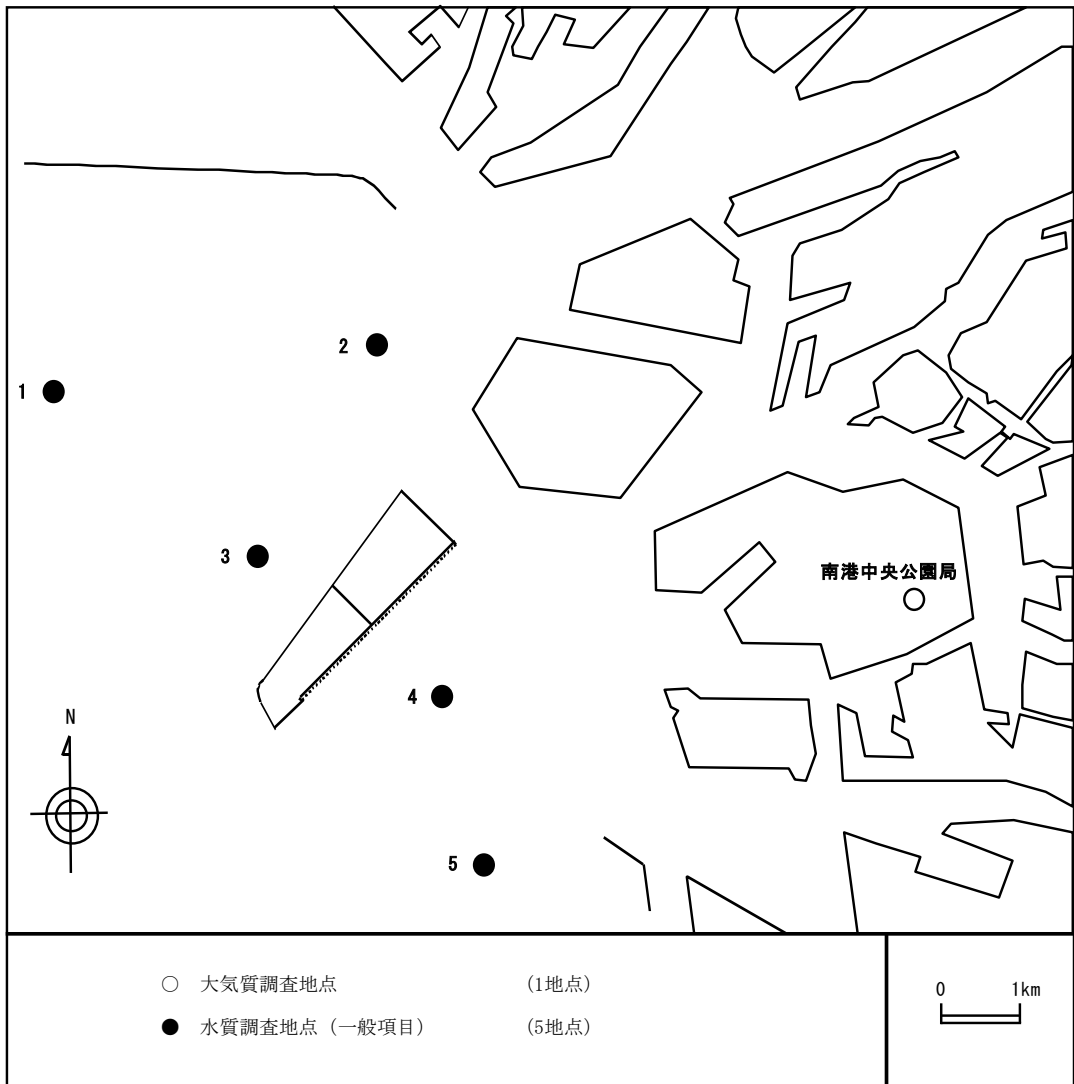
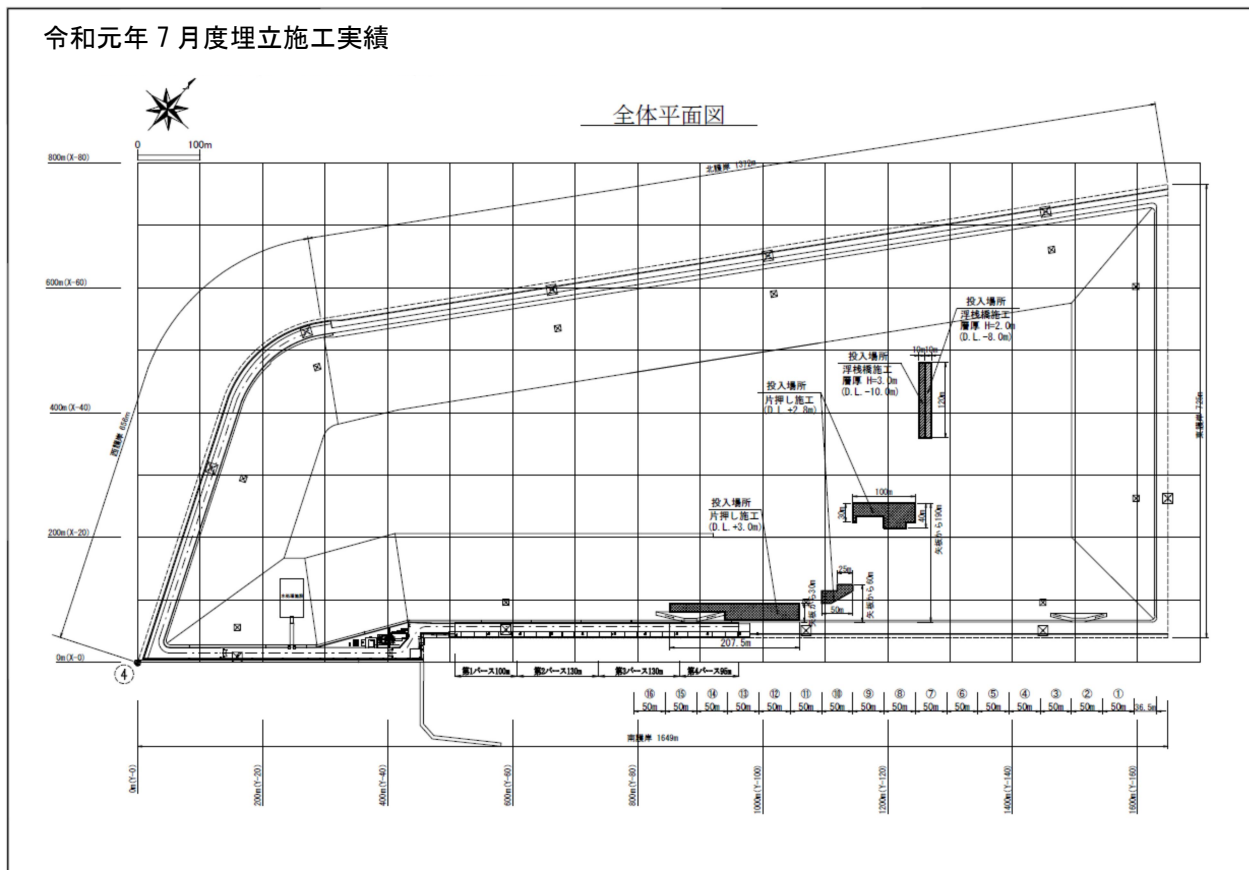


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

2. 工事の実施状況

令和元年7月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m ³)	進捗率(%)
5,220,538	37.4

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

- 1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm以下、1時間値：0.1ppm以下】
二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.004ppmであった。また、日平均値の最高値は0.008ppm、1時間値の最高値は0.019ppmであり、環境基準値を下回っていた。
- 2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値0.04～0.06ppmのゾーン内またはそれ以下】
二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.017ppmであった。また、日平均値の最高値は0.036ppmであり、環境基準値の範囲内であった。
- 3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値0.10mg/m³以下、1時間値：0.20mg/m³以下】
浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.019mg/m³であった。また、日平均値の最高値は0.035mg/m³、1時間値の最高値は0.064mg/m³であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8以上8.3以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で8.2～8.4、下層で7.9～8.0の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準の範囲内であった。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点2(8.4)、調査地点5(8.4)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)は上層で7.7～8.6であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で2.8～5.7mg/L、下層で0.6～1.4mg/Lの範囲であり、上層では過半数の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点1(3.3mg/L)、調査地点2(5.0mg/L)、調査地点4(4.7mg/L)及び調査地点5(5.7mg/L)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)は上層で1.6～4.9mg/Lであり、調査地点2、5でこの範囲を若干上回っていたが、概ね同程度であるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で7.7～13mg/L、下層で3.6～7.0mg/Lの範囲であり、上層では

全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では一部の調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回った調査結果は、下層の調査地点 1 (3.6mg/L)、調査地点 2 (4.6mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は下層で 0.6~11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg/L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.36~0.67mg/L、下層で 0.23~0.40mg/L の範囲であり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 2 (0.67mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46~2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg/L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.060~0.11mg/L、下層で 0.036~0.079mg/L の範囲であり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.11mg/L)、調査地点 2 (0.10mg/L)、調査地点 3 (0.060mg/L)、調査地点 4 (0.092mg/L)、調査地点 5 (0.099mg/L) 及び下層の調査地点 1 (0.079mg/L) 並びに調査地点 4 (0.051mg/L) であった。

事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L、下層で 0.020~0.25mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 1~6 度(カリン)、下層で報告下限値未満 (<1 度(カリン)) ~5 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 2~7mg/L、下層で報告下限値未満 (<1mg/L) ~4mg/L の範囲であった。

8) カロフィル a

カロフィル a は上層で 15.1~88.8 μ g/L、下層で 1.1~2.5 μ g/L の範囲であった。

《 参考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上 8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全燐（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全燐の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表〔令和元年7月分〕

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	738
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	739
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	741
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果〔令和元年7月分〕

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (月)	0.003	0.006
	2 (火)	0.004	0.008
	3 (水)	0.008	0.018
	4 (木)	0.004	0.011
	5 (金)	0.003	0.008
別	6 (土)	0.001	0.002
	7 (日)	0.002	0.012
	8 (月)	0.004	0.011
	9 (火)	0.003	0.006
	10 (水)	0.005	0.017
	11 (木)	0.003	0.012
	12 (金)	0.003	0.010
	13 (土)	0.003	0.010
	14 (日)	0.004	0.012
	15 (月)	0.002	0.010
	16 (火)	0.004	0.012
	17 (水)	0.004	0.007
	18 (木)	0.005	0.019
	19 (金)	0.003	0.009
	20 (土)	0.003	0.018
値	21 (日)	0.001	0.005
	22 (月)	0.003	0.007
	23 (火)	0.004	0.011
	24 (水)	0.005	0.013
	25 (木)	0.006	0.011
	26 (金)	0.003	0.007
	27 (土)	0.002	0.004
	28 (日)	0.004	0.008
	29 (月)	0.004	0.007
	30 (火)	0.005	0.010
	31 (水)	0.006	0.010
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		738	
月平均値 (ppm)		0.004	
日平均値の最高値 (ppm)		0.008	
1時間値の最高値 (ppm)		0.019	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第3号（埋立地関連）

一酸化窒素測定結果 [令和元年7月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (月)	0.003	0.007
	2 (火)	0.003	0.011
	3 (水)	0.010	0.028
	4 (木)	0.005	0.012
	5 (金)	0.004	0.008
	6 (土)	0.003	0.004
	7 (日)	0.002	0.003
	8 (月)	0.004	0.008
	9 (火)	0.005	0.015
	10 (水)	0.004	0.010
別	11 (木)	0.008	0.022
	12 (金)	0.006	0.026
	13 (土)	0.003	0.007
	14 (日)	0.003	0.005
	15 (月)	0.003	0.004
	16 (火)	0.005	0.017
	17 (水)	0.006	0.020
	18 (木)	0.014	0.039
	19 (金)	0.014	0.034
	20 (土)	0.018	0.047
値	21 (日)	0.006	0.019
	22 (月)	0.013	0.038
	23 (火)	0.005	0.014
	24 (水)	0.005	0.019
	25 (木)	0.003	0.022
	26 (金)	0.005	0.013
	27 (土)	0.003	0.009
	28 (日)	0.003	0.014
	29 (月)	0.004	0.015
	30 (火)	0.006	0.023
	31 (水)	0.005	0.018
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		739	
月平均値 (ppm)		0.006	
日平均値の最高値 (ppm)		0.018	
1時間値の最高値 (ppm)		0.047	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果〔令和元年7月分〕

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (月)	0.017	0.044
	2 (火)	0.020	0.035
	3 (水)	0.036	0.061
	4 (木)	0.020	0.040
	5 (金)	0.019	0.032
別	6 (土)	0.011	0.025
	7 (日)	0.009	0.029
	8 (月)	0.019	0.034
	9 (火)	0.020	0.030
	10 (水)	0.021	0.038
	11 (木)	0.022	0.035
	12 (金)	0.019	0.034
	13 (土)	0.018	0.029
	14 (日)	0.014	0.029
	15 (月)	0.011	0.020
	16 (火)	0.020	0.035
	17 (水)	0.018	0.034
	18 (木)	0.020	0.028
	19 (金)	0.021	0.028
	20 (土)	0.022	0.035
値	21 (日)	0.010	0.023
	22 (月)	0.013	0.020
	23 (火)	0.018	0.037
	24 (水)	0.020	0.035
	25 (木)	0.020	0.039
	26 (金)	0.017	0.030
	27 (土)	0.015	0.033
	28 (日)	0.011	0.024
	29 (月)	0.013	0.023
	30 (火)	0.012	0.020
	31 (水)	0.012	0.019
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		739	
月平均値 (ppm)		0.017	
日平均値の最高値 (ppm)		0.036	
1時間値の最高値 (ppm)		0.061	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [令和元年7月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	
日	1 (月)	0.020	83.8	0.051
	2 (火)	0.023	85.4	0.044
	3 (水)	0.046	78.5	0.087
	4 (木)	0.025	80.2	0.046
	5 (金)	0.023	83.6	0.040
	6 (土)	0.014	80.8	0.029
	7 (日)	0.011	78.4	0.032
	8 (月)	0.023	82.6	0.040
	9 (火)	0.025	80.3	0.045
	10 (水)	0.025	83.4	0.048
別	11 (木)	0.030	74.6	0.057
	12 (金)	0.025	76.1	0.059
	13 (土)	0.022	84.0	0.036
	14 (日)	0.017	82.5	0.032
	15 (月)	0.014	78.9	0.023
	16 (火)	0.026	79.8	0.044
	17 (水)	0.023	75.9	0.054
	18 (木)	0.034	58.3	0.065
	19 (金)	0.035	59.4	0.058
	20 (土)	0.040	56.1	0.067
値	21 (日)	0.016	64.5	0.032
	22 (月)	0.026	49.8	0.055
	23 (火)	0.023	78.6	0.038
	24 (水)	0.025	80.8	0.049
	25 (木)	0.022	87.8	0.061
	26 (金)	0.022	79.2	0.039
	27 (土)	0.018	85.5	0.039
	28 (日)	0.014	78.7	0.028
	29 (月)	0.016	77.7	0.029
	30 (火)	0.018	68.5	0.033
	31 (水)	0.016	71.9	0.027
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		739		
月平均値 (ppm)		0.023		
日平均値の最高値 (ppm)		0.046		
1時間値の最高値 (ppm)		0.087		
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		75.3		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂) の算定方法は、下記のとおりである。

$$\text{日(月)平均値NO}_2 / (\text{NO} + \text{NO}_2) =$$

$$\frac{(\text{NO} \text{ 及び } \text{NO}_2 \text{ が同時測定されている時間のNO}_2 \text{ 濃度の日(月)間にわたる総和)} /$$

$$(\text{NO} \text{ 及び } \text{NO}_2 \text{ が同時測定されている時間のNO} + \text{NO}_2 \text{ 濃度の日(月)間にわたる総和)}$$

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [令和元年7月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(mg/m ³)	1時間値の最高値(mg/m ³)
日	1 (月)	0.012	0.020
	2 (火)	0.024	0.037
	3 (水)	0.029	0.041
	4 (木)	0.020	0.041
	5 (金)	0.017	0.028
	6 (土)	0.006	0.014
	7 (日)	0.015	0.021
	8 (月)	0.019	0.031
	9 (火)	0.013	0.023
	10 (水)	0.017	0.027
別	11 (木)	0.008	0.016
	12 (金)	0.013	0.024
	13 (土)	0.016	0.032
	14 (日)	0.011	0.024
	15 (月)	0.011	0.022
	16 (火)	0.018	0.036
	17 (水)	0.017	0.048
	18 (木)	0.016	0.027
	19 (金)	0.011	0.021
	20 (土)	0.020	0.044
値	21 (日)	0.017	0.042
	22 (月)	0.014	0.028
	23 (火)	0.024	0.038
	24 (水)	0.029	0.061
	25 (木)	0.033	0.051
	26 (金)	0.018	0.031
	27 (土)	0.021	0.043
	28 (日)	0.035	0.059
	29 (月)	0.027	0.059
	30 (火)	0.028	0.054
	31 (水)	0.027	0.064
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		741	
月平均値 (mg/m ³)		0.019	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.035	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.064	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[令和元年7月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (月)	0.5	0.8	SW, W	W
	2 (火)	0.4	1.0	SW	CALM
	3 (水)	0.3	0.5	ENE, WNW	CALM
	4 (木)	0.6	1.5	NE	CALM
	5 (金)	1.7	3.4	NE	NE
別	6 (土)	1.7	3.1	NE, E	NE
	7 (日)	0.7	1.3	SE	WNW
	8 (月)	0.7	1.1	E	NW
	9 (火)	0.9	2.2	ESE	CALM
	10 (水)	1.0	2.0	E, ESE	NE
	11 (木)	1.2	1.7	ENE	E
	12 (金)	0.7	1.2	WSW	WSW
	13 (土)	0.7	1.3	E	E
	14 (日)	0.5	1.0	ENE	CALM
	15 (月)	0.7	1.3	N	N
値	16 (火)	0.6	1.4	E	NW
	17 (水)	0.6	1.0	W	W
	18 (木)	0.5	1.0	WNW	CALM
	19 (金)	0.4	1.3	SE	CALM
	20 (土)	0.5	1.1	ENE	CALM
	21 (日)	0.6	1.3	ESE	CALM
	22 (月)	0.6	1.1	SE	W
	23 (火)	0.6	1.3	SW	WSW
	24 (水)	0.5	1.0	WSW	CALM
	25 (木)	0.6	1.4	SE, WSW	CALM
	26 (金)	1.2	2.8	E	NW
	27 (土)	1.0	2.4	ENE	NE
	28 (日)	0.6	1.0	W	WNW
	29 (月)	0.6	1.1	SW	W
	30 (火)	0.6	1.1	WSW	NW
	31 (水)	0.7	1.1	WSW	NW
測定時間 (時間)		744			
月平均風速 (m/s)		0.7			
月最大風速 (m/s)		3.4			
月最多風向 (16方位)		W			

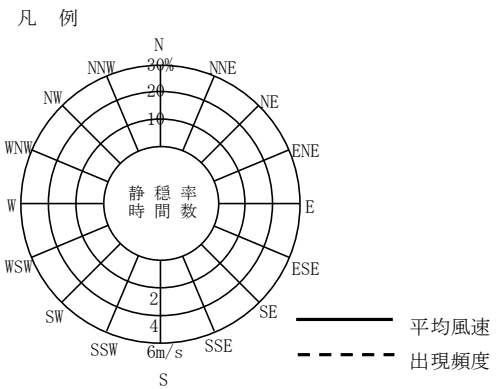
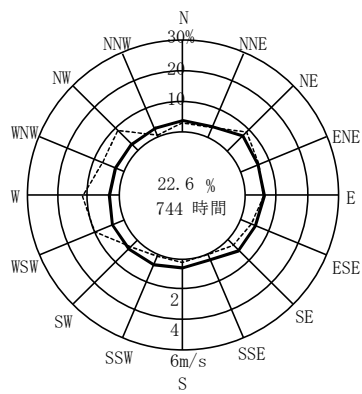
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和元年7月分]

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	27	66	47	41	26	16	1	7	5	22	75	89	55	68	6	25	168	744
頻度 (%)	3.6	8.9	6.3	5.5	3.5	2.2	0.1	0.9	0.7	3.0	10.1	12.0	7.4	9.1	0.8	3.4	22.6	-
平均風速 (m/s)	0.8	1.4	1.2	1.2	1.0	0.9	0.4	0.6	0.7	0.8	0.8	0.7	0.6	0.6	0.6	0.8	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和元年7月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）〔令和元年7月分〕

調査日：令和元年7月9日

項目	調査点		1	2	3	4	5	最小値	～	最大値	平均値
時刻			9:51	10:07	9:37	9:15	8:59		-		-
透明度	[m]		3.5	3.5	2.6	2.6	2.1	2.1	～	3.5	2.9
水温	[°C]		23.8	24.6	23.8	23.8	23.4	23.4	～	24.6	23.9
			22.0	22.2	21.8	21.8	21.8	21.8	～	22.2	21.9
塩分	[-]		24.9	24.4	28.3	24.7	25.6	24.4	～	28.3	25.6
			32.0	31.9	32.0	32.0	32.0	31.9	～	32.0	32.0
濁度	[度(カリン)]		2	3	1	3	6	1	～	6	3
			5	1	1	<1	1	<1	～	5	2
浮遊物質 (SS)	[mg/L]		2	3	2	4	7	2	～	7	4
			4	1	1	2	<1	<1	～	4	2
水素イオン濃度 (pH)	[-]		8.2	8.4	8.2	8.3	8.4	8.2	～	8.4	-
			7.9	8.0	8.0	8.0	8.0	7.9	～	8.0	-
化学的酸素要求量 (COD)	[mg/L]		3.3	5.0	2.8	4.7	5.7	2.8	～	5.7	4.3
			1.4	1.4	0.6	1.1	0.8	0.6	～	1.4	1.1
溶存酸素量 (DO)	濃度	[mg/L]	8.9	8.6	7.7	9.9	13	7.7	～	13	10
	飽和度	[%]	122	119	108	135	178	108	～	178	132
全窒素 (T-N)	[mg/L]		0.56	0.67	0.36	0.50	0.53	0.36	～	0.67	0.52
			0.40	0.25	0.25	0.23	0.23	0.23	～	0.40	0.27
全燐 (T-P)	[mg/L]		0.11	0.10	0.060	0.092	0.099	0.060	～	0.11	0.092
			0.079	0.048	0.039	0.051	0.036	0.036	～	0.079	0.051
クロロフィル a (chl. a)	[μg/L]		15.1	41.6	19.1	59.7	88.8	15.1	～	88.8	44.9
			1.5	2.5	1.1	1.1	1.1	1.1	～	2.5	1.5

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底下2m）

特記事項